

3. 環境影響評価における事業計画変更に伴う予測・評価の見直し

3.1 予測・評価項目

予測・評価項目については、図 3.1-1 の手順に従い、対象事業の事業計画の内容から環境に影響を及ぼすおそれのある行為・要因を抽出し、さらに地域の環境特性に応じて検討を行った。

選定した項目は、表 3.1-1 に示すとおり、評価書作成時に選定した騒音、振動、植物・動物(陸上植物、陸上動物)、景観、史跡・文化財の 5 項目とした。

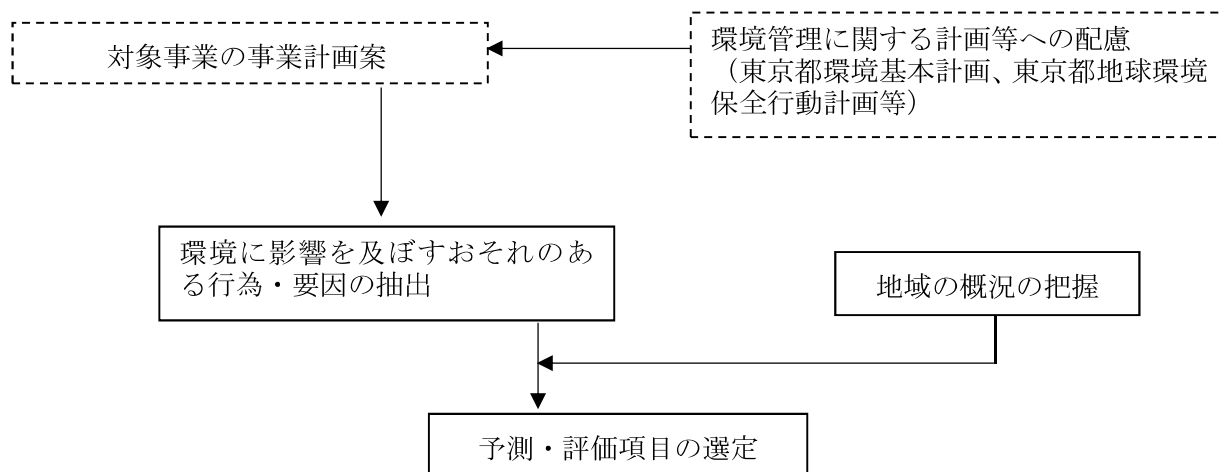


図 3.1-1 予測・評価項目の選定の手順

表 3.1-1 行為・要因と予測・評価項目の関連表

予測・評価項目 行為・要因 区分		大気汚染	悪臭	騒音	振動	低周波空気振動	水質汚濁	土壌汚染	地盤沈下	地形・地質	水文環境	植物・動物			日照障害	電波障害	風害	景観	史跡・文化財
												陸上植物	陸上動物	水生生物					
工事の 施行中	整地工事等											○	○						○
	建設機械の稼働			○	○														
工事の 完了後	土地利用の変更											○	○					○	

出典：環境影響評価書—羽村駅西口土地区画整理事業—平成 10 年 2 月を基に作成

3.2 予測・評価の見直しを行わない項目

事業工程の見直しに対し、予測・評価の見直しを行わない項目は、表 3.2-1 に示すとおりである。

表 3.2-1 予測・評価の見直しを行わない項目

環境影響評価の項目			予測事項	見直しの 必要性	理由
※大汚 気 染	工事の 施行中	建設機械 の稼働	建設作業機械の稼働により発生する粉じん及び排ガス	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであるため、建設機械の稼働台数が最大となる年間の台数が増加することはない。
		工事用車両の走行	工事用車両の走行により発生する排ガス	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであるため、工事用車両の走行台数が最大となる年間の台数が増加することはない。
騒 音	工事の 施行中	建設機械 の稼働	建設作業機械の稼働による建設作業騒音	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであるため、建設機械の稼働台数が最大となる年間の台数が増加することはない。
		工事用車両の走行	工事用車両の走行により発生する騒音	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであるため、工事用車両の走行台数が最大となる年間の台数が増加することはない。
振 動	工事の 施行中	建設機械 の稼働	建設作業機械の稼働による建設作業振動	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであるため、建設機械の稼働台数が最大となる年間の台数が増加することはない。
		工事用車両の走行	工事用車両の走行により発生する振動	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであるため、工事用車両の走行台数が最大となる年間の台数が増加することはない。
※悪 臭	工事の 施行中	建設機械 の稼働	建設作業機械の稼働により発生する悪臭	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであるため、悪臭、低周波空気振動、水質汚濁、土壌汚染、地盤沈下を变更前よりも悪化するような行為はない。
※低周波空気振動	工事の 施行中	建設機械 の稼働	建設作業機械の稼働により発生する低周波空気振動	×	
※水汚 質濁	工事の 施行中	工事の実施	工事の実施により発生する水質汚濁	×	
※土汚 壌染	工事の 施行中	工事の実施	工事の実施により発生する土壌汚染	×	
※地沈 盤下	工事の 施行中	工事の実施	工事の実施により発生する地盤沈下	×	
※地 形・地質	工事の 施行中	土地の改変	土地の改変による学術上、景観上重要な地形・地質の改変	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであるため、変更前と比較して地形・地質への影響が生じるような行為はない。
※水環 文境	工事の完了後	土地利用の変更	土地利用の変更による地下水の流動阻害	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであるため、変更前と比較して地下水への影響が生じるような行為はない。

※は予測・評価項目外

環境影響評価の項目				予測事項	見直しの 必要性	理由
※ 日 阻	照 害	工事の 完了後	構 造 物 の 存 在	構造物の存在により発生する日照阻害	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであるため、変更前と比較して日照阻害、電波障害、風害の影響が生じるような行為はない。
※ 電 障	波 害	工事の 完了後	構 造 物 の 存 在	構造物の存在により発生する電波障害	×	
※ 風	害	工事の 完了後	構 造 物 の 存 在	構造物の存在により発生する風害	×	
植 物 ・ 動 物	陸 上 植 物	工事の 施行中	整 地 工 事 等	生育環境、植物個体及び植物群落、緑の量の変化の程度	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであり、施工区域について変更はないことから、変更前と比較して、新たに生育環境や植物個体及び植物群落等を改変するものではないことから、影響は生じない。
		工事の 完了後	土 地 利 用 の 変 更			
	陸 上 動 物	工事の 施行中	整 地 工 事 等	生息環境、陸上動物の消滅の有無及び変化の程度	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであり、施工区域について変更はないことから、変更前と比較して、新たに生息環境や陸上動物の消滅や変化が生じるものではないことから、影響は生じない。
		工事の 完了後	土 地 利 用 の 変 更			
景 観		工事の 完了後	土 地 利 用 の 変 更	道路や公園などの整備・改善による景観の影響	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであり、土地利用について変更はないことから、変更前と比較して代表的な眺望点からの眺望には影響が生じない。
史 跡 ・ 文 化 財		工事の 施行中	整 地 工 事 等	道路工事及び排水工事に伴う影響	×	・施工の内容に変更はなく、工事期間を延長するのみであり、施工区域について変更はないことから、変更前と比較して埋蔵文化財包蔵地が分布している範囲を新たに改変するものではないことから、影響は生じない。

※は予測・評価項目外

4. 事後調査報告書等の提出時期

事後調査報告書等の提出時期を表 4-1 に示す。

事後調査の報告書は、工事の施行中 2 回、工事の完了後 2 回の計 4 回提出するものとする。

表 4-1 事後調査報告書等の提出時期

変更後

手続・評価	調査項目	調査時期	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1. 騒音	建設作業音	工事の表態状況により建設機械の稼働が最大の時点	▼									
	事業・対策等の状況	工事の表態状況により建設機械の稼働が最大の時点										
	交通の状況	行路地帯の時										
	建設作業音	工事の表態状況により建設機械の稼働が最大の時点										
	事業・対策等の状況	工事の表態状況により建設機械の稼働が最大の時点										
2. 振動	交通の状況											
	建設作業音	工事の表態状況により建設機械の稼働が最大の時点										
	事業・対策等の状況	工事の表態状況により建設機械の稼働が最大の時点										
	交通の状況											
	建設作業音	工事の表態状況により建設機械の稼働が最大の時点										
3. 陸上騒音	建築物・植物群落・生育環境	工事完了時・完了後10年経過時										
	事業・対策等の状況	工事完了時										
	各動物類・生育環境	工事完了時・完了後10年経過時										
	事業・対策等の状況	工事完了時										
	景観特性・眺望の状況	工事完了時										
5. 景観	事業・対策等の状況	工事完了時										
	景観特性・眺望の状況	工事完了時										
	事業・対策等の状況	工事完了時										
	景観特性・眺望の状況	工事完了時										
	事業・対策等の状況	工事完了時										
6. 史跡・文化財	埋蔵文化財の状況	発掘調査の期間(同時)										
	事業・対策等の状況	工事完了時(発掘調査後同時)										
	大気汚染・水質汚濁・水文環境・廃棄物の環境保全のための措置確認											
	事業・対策等の状況	工事完了時										
	景観特性・眺望の状況	工事完了時										
7. その他	埋蔵文化財の状況	発掘調査の期間(同時)										
	事業・対策等の状況	工事完了時(発掘調査後同時)										
	大気汚染・水質汚濁・水文環境・廃棄物の環境保全のための措置確認											
	事業・対策等の状況	工事完了時										
	景観特性・眺望の状況	工事完了時										
報告書提出時期												

変更前

手続・評価	調査項目	調査時期	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1. 騒音	建設作業音	工事の表態状況より建設機械の稼働が最大の時点	▼									
	事業・対策等の状況	工事の表態状況より建設機械の稼働が最大の時点										
	交通の状況	行路地帯の時										
	建設作業音	工事の表態状況より建設機械の稼働が最大の時点										
	事業・対策等の状況	工事の表態状況より建設機械の稼働が最大の時点										
2. 振動	交通の状況											
	建設作業音	工事の表態状況より建設機械の稼働が最大の時点										
	事業・対策等の状況	工事の表態状況より建設機械の稼働が最大の時点										
	交通の状況											
	建設作業音	工事の表態状況より建設機械の稼働が最大の時点										
3. 陸上騒音	建築物・植物群落・生育環境	工事完了時・完了後10年経過時										
	事業・対策等の状況	工事完了時										
	各動物類・生育環境	工事完了時・完了後10年経過時										
	事業・対策等の状況	工事完了時										
	景観特性・眺望の状況	工事完了時										
4. 陸上動物	埋蔵文化財の状況	発掘調査の期間(同時)										
	事業・対策等の状況	工事完了時(発掘調査後同時)										
	大気汚染・水質汚濁・水文環境・廃棄物の環境保全のための措置確認											
	事業・対策等の状況	工事完了時										
	景観特性・眺望の状況	工事完了時										
報告書提出時期												

注) ○：工事の施行中、●：工事の完了後、△：参考として実施する調査

